



UNEP  
FINANCE  
INITIATIVE

**+ IMPACT**

# インパクトレーダー

包括的なインパクト分析のためのツール

ポジティブ・インパクト金融  
実施ガイド

2018年11月

# 目次

ポジティブ・インパクト金融原則.....	2
1. イントロダクション.....	3
2. 方法論 .....	5
3. インパクトレーダー .....	6
4. インパクトレーダーの活用.....	10
5. 謝辞.....	16

# ポジティブ・インパクト 金融原則

## 01 DEFINITION

### 原則1:定義

ポジティブ・インパクト金融はポジティブ・インパクト・ビジネスのための金融である。それは、持続可能な開発の3つの側面(経済、環境、社会)のいずれかにおいて潜在的なマイナスの影響が適切に特定され緩和され、なおかつ少なくともそれらの一つの面でプラスの貢献をもたらすことを意味する。持続可能性の課題を総合的に評価することによりから、持続可能な開発目標(SDGs)における資金面での課題に対する直接的な対応策の一つとなる。

## 02 FRAMEWORKS

### 原則2:フレームワーク

ポジティブ・インパクト金融を実行するには、事業主体(銀行、投資家など)が、それらの事業活動、プロジェクト、プログラム、および/または投融資先の事業主体のポジティブ・インパクトを特定しモニターするための十分なプロセス、方法、ツールが必要である

## 03 TRANSPARENCY

### 原則3:透明性

ポジティブ・インパクト金融を提供する主体(銀行、投資家など)は透明性の確保と情報開示が求められる。ポジティブ・インパクトとして資金調達した活動、プロジェクト、プログラム、および/または投融資先の事業主体の意図したポジティブ・インパクトについて(原則1に関連)

適格性を判断し、影響をモニターし検証するために確立されたプロセスについて(原則2に関連)、資金調達した活動、プロジェクト、プログラム、および/または投融資先の事業主体が達成したインパクトについて(原則4に関連)

## 04 ASSESSMENT

### 原則4:評価

ポジティブ・インパクトの評価は、実際に達成された影響に基づいて行われるべきである。

# 1. イントロダクション

包括的なインパクト分析は、ポジティブ・インパクト金融原則(PI原則)に示されている持続可能な開発に資金を提供するアプローチの基礎である。ポジティブ・インパクト(PI)金融は、持続可能な開発の3つの側面のうちの1つ以上にプラスに寄与するものであり、他の側面のいずれかにおいても潜在的なマイナスの影響が特定され、対処されなくてはならない(原則1)。

このアプローチを実行するために、金融機関は2つの課題に直面している。

## 1. 持続可能な目標(マクロ)を個別の金融目標(ミクロ)への移行

SDGsは、開発に関する普遍的かつ共通のビジョンを示す。SDGs実現に向け資金を提供しようとする金融機関は、グローバルの政策的な検討課題から、ビジネスに適用し得るミクロの目的に向けて活動しなければならない。特定のSDGsに直接言及することはビジネス自体に焦点は当てられるものの、このアプローチでは、他のSDGsに対してどのようなインパクトがあるのか、また、市場における同業他社に対してはどのようなインパクトがあるのかを理解することについて、違いが生じる可能性がある。

## 2. PI原則により提案された包括的なインパクト分析の実施

序文にある通り、SDGsとは、統合され、不可分な、持続可能な開発の3つの側面のバランスをとるものである。それらは、社会(「人」)、環境(「地球」)、経済(「繁栄」)を意味している。企業はSDGsの相互関連性を認識するようになってきているが、17のSDGsの169のターゲット全体にわたってインパクトを分析することは難しい。包括的な分析のためには、SDGsと財務目標をつなげるステップが必要である。

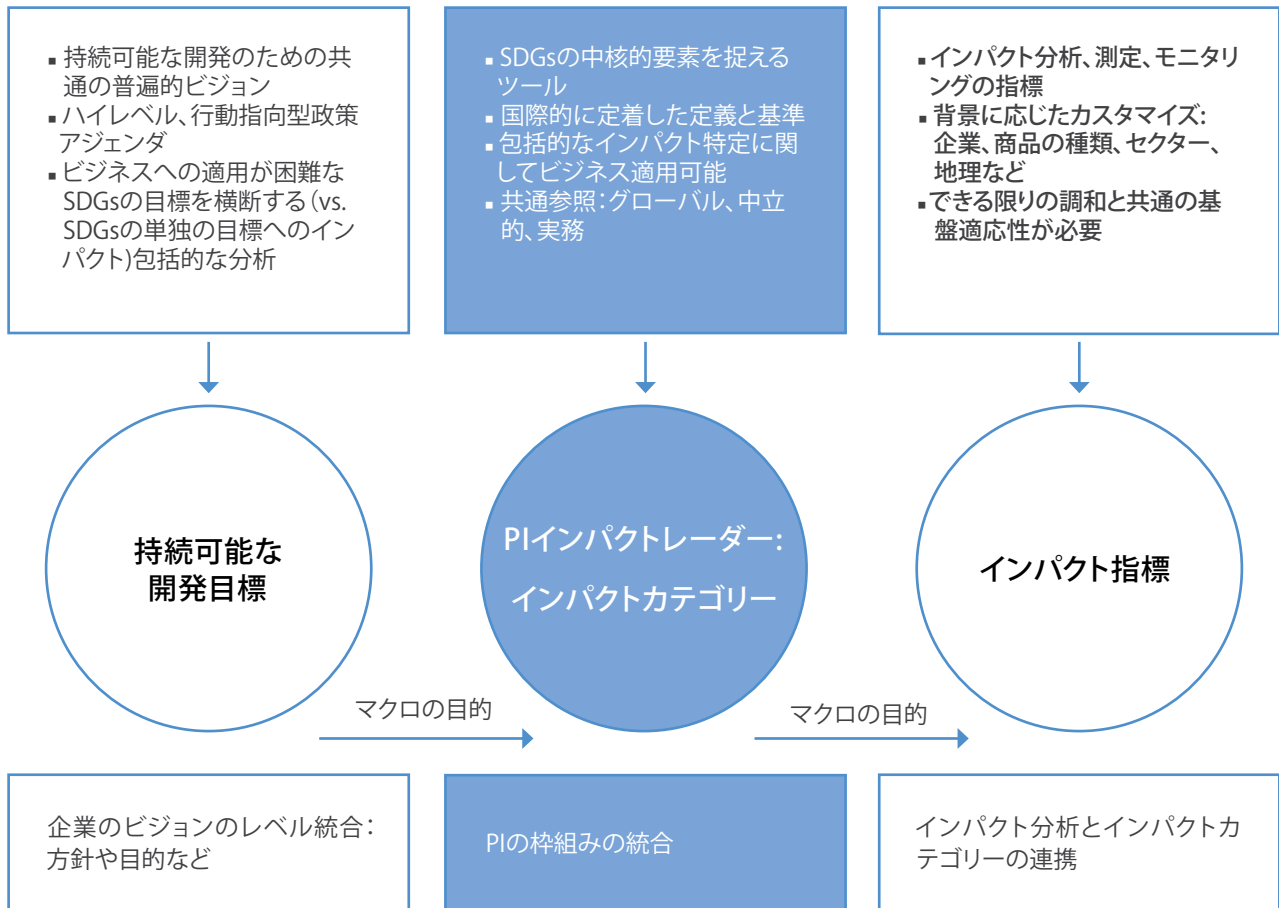
本稿では、持続可能な開発へのインパクトを総合的に把握する上で金融機関がインパクトを特定できるようにするためのツールとして「インパクトレーダー」を提案している。

インパクトレーダーは、PI金融を提供するために開発されたフレームワーク等のツールと併せて利用可能な、包括的で信頼性のあるインパクトカテゴリーを提供し、業界内のPI商品の評価のための共通の枠組に貢献することを目指している。インパクトカテゴリーとは:

- SDGsの基盤となる持続可能な開発のニーズ(マクロ)を把握し、持続可能な開発に対する財務的な寄与についての定義および測定ができるような指標(ミクロ)を提供するための基礎を提供する。
- 金融機関が、持続可能な開発に関する3つの側面にまたがるマイナスの影響とプラスの影響を特定できるようにし、総合的なインパクト分析を行うことができるようにする。

図1は、マクロにおける目的とミクロにおける目的の間のインパクトカテゴリーの中間的役割を示し、全体的なインパクトの識別を可能にし、これらのカテゴリーがPIの枠組みとどのように関連しているかを示したものである

図1: インパクトレーダー:包括的なインパクト識別のための支援ツール



本稿が扱う内容は、インパクトを特定するためのインパクトカテゴリー(およびそれらの定義)の提案に限定されている。インパクト分析手法や指標は直接触れていない。インパクトレーダーは、PIフレームワークのガイドとあわせて検討される必要がある。この報告書は、インパクトカテゴリーと指標に関するPIイニシアティブの概要書の知見に基づいて作成されている(2017年10月)。インパクトレーダーがどのようにフレームワーク、方法論、指標と関わっているかについては、第4章で予備的な考察を行っている。

## 2. 方法論

持続可能性の3つの側面にまたがるインパクトを考慮するためのシンプルで信頼できる方法を金融機関が採用できるよう、インパクトレーダーのインパクトカテゴリーは、持続可能な開発の一般に受け入れられている定義の中核的要素を捉えようとする一方で、2つの重要な基準に対応している：

1. 国際的に認識された規範や定義に則ったものであり、
2. すでに利用されていることから、インパクト分析のために金融業界の専門家によって既にテストされている。

持続可能な開発の定義として広く受け入れられているのは、「将来の世代が自らのニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たす開発」(国連環境と開発に関する世界委員会、我ら共有の未来 報告書、1987年)である。

この定義は、人々のニーズや願望の充足が開発の主要な目的であり、持続可能な開発のための戦略は人々の間で、また人と自然の調和を促進するものであるという考え方に基づいている。それには2つの重要な概念が含まれている。

(a)「ニーズ」の概念、及び(b)現在及び将来の人々のニーズを満たすための環境の「限界」という概念。経済発展としての開発は、地球環境の制約の中で人々のニーズを満たすことを意味する。

インパクトレーダーのインパクトカテゴリーは、SDGs(「人々」、「地球」、「繁栄」)によって明示された持続可能な開発の3つの側面を反映した、これら中核的な要素から派生する。

- 人々のニーズ(社会的側面)
- 環境条件や制約(環境側面)
- 経済発展(経済的側面)

持続可能な開発の3つの中核的な要素を反映するため、インパクトカテゴリーは次のようになる。

- a. **これらのインパクトの達成を目的とした行動ではなく、客観的で中立的な形でインパクトを形成し、プラスとマイナスの両方のインパクト評価のためにそれらのインパクトを使用できるようにする。**
- b. **あらゆる金融機関が、その種類、規模、構造、運用状況に関係なく、またあらゆる金融製品・サービスを利用できるようにするために、普遍的に有効に関連のある概念。**

インパクトレーダーのインパクトカテゴリーは、国際的な規範や基準に即して金融機関が提供する融資や投資から生じる影響を特定・評価・測定するために、金融機関がもつインパクト関連の知見(社内で開発された、または業界団体によって提案された)を部分的に見直すことによって得られたものである。

それぞれのカテゴリーは、参照しやすいよう持続可能性のいずれかの側面に属しているが、実際には、これらは横断的である可能性がある。重要なのは、インパクトカテゴリーを特定の側面に固定してしまうのではなく、全体的に考慮することである。

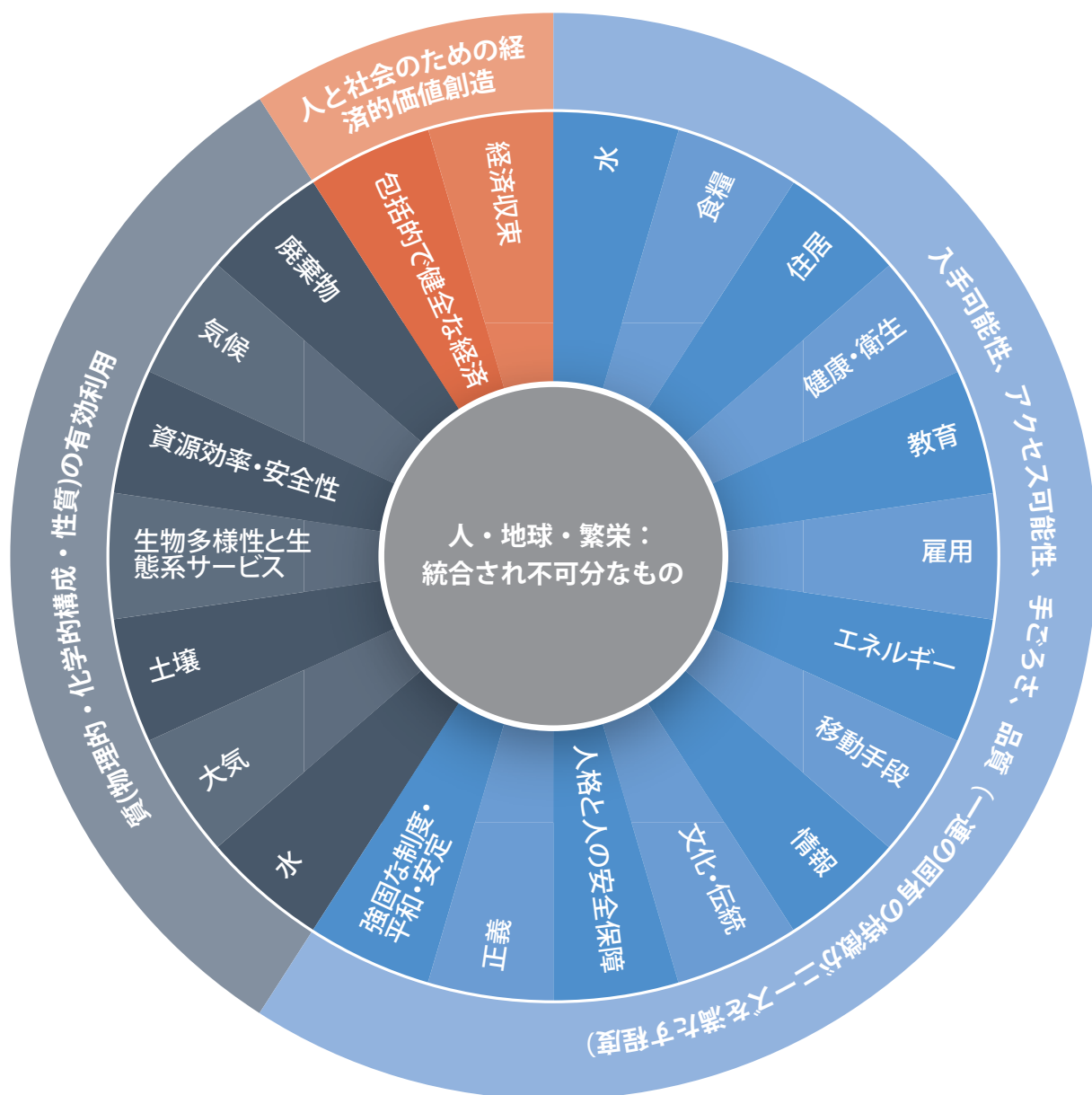
インパクトカテゴリーの定義付けは、(参考にした)国際的な情報源から導き出され、また、事業への適用を容易にするために簡素化された。

インパクトレーダーは、一連のステークホルダーとの協議に基づいて構築され、改良を前提としたツールとして業界や関係者によって試され、必要に応じて調整される。

### 3. インパクトレーダー

インパクトレーダーは持続可能な開発の中核的な要素から派生するインパクトカテゴリーをもとに構築されており、それは、金融機関が自らの商品やサービスを通じてもたらす可能性があるプラスとマイナスの影響を考慮しそれらを検出することを期待するものである。

- 人間の尊厳と開発に不可欠な領域における利用可能性、アクセス可能性、手ごろさ、質(一連の固有の特徴がニーズが満たされているという程度):水、食料、住居、保健衛生、教育、雇用、エネルギー、移動手段(モビリティ)、情報、文化・遺産、人の安全保障、正義、強固な制度、平和と安定
- 質(物理的・化学的構成・性質)と環境の有効利用:水、大気、土壌、生物多様性と生態系、資源効率/安全保障、気候、廃棄物
- 人と社会のための経済的価値創造は、環境の制約のもとで人々のニーズを満たす手段である。包括的で健全な経済、経済的収斂



以下、各インパクトカテゴリーの説明である。金融機関が自らの商品サービスを通じて、プラスにもマイナスにも影響を及ぼす可能性のある領域を説明する。

このツールの趣旨より、インパクトは、各カテゴリーで定義された領域において、プロジェクト、活動、または投融資先企業で生じた-マイナスとプラス両方の影響または変化として理解される。

カテゴリー	定義
<b>入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質(一連の固有の特徴がニーズを満たす程度)の…</b>	
水	<p>個人用、家庭用、経済活動用として十分かつ安全で、許容され、手頃な価格の水へのアクセスが可能なこと。安全な水とは、人の健康を脅かす微生物、化学物質、放射性物質等を含まない水である。</p> <p>国際的な情報源: 国連人権高等弁務官事務所(OHCHR), UN-Water</p>
食糧	<p>十分で安全かつ栄養価の高い食品に、物理的、社会的、経済的にアクセス可能であり、なおかつ、これらの食品が、活動的で健康な生活のために必要な食糧や嗜好を満たしていること。</p> <p>国際的な情報源: 国連食糧農業機関(FAO)</p>
住居	<p>適正、安全かつ手頃な価格の住居にアクセスできること:安全で、平和で、尊厳のある生活を送ることのできる場所であること。</p> <p>国際的な情報源: 国連人権高等弁務官事務所(OHCHR), 国連ハビタット</p>
保健・衛生	<p>単に疾病又は病弱が存在しないことではなく、身体的、精神的及び社会的福祉の状態を享受できること。これには、質の高い基本的な保健サービスや、効果的で質が高くしかも手頃な価格の基本的な医薬品やワクチンを手入できることが含まれる。また、衛生設備は、人々がプライバシーと尊厳を保証し、すべての人にとって清潔で健康的な生活環境を確保するための施設やサービスへのアクセスを確保することを意味する。</p> <p>国際的な情報源: 世界保健機関(WHO), 国連水関連機関調査委員会</p>
教育	<p>質の高い教育と生涯学習の機会を包括的かつ公平な方法で利用できること。これは、すべての人々が初等教育を受けることができ、すなわち無償かつ義務教育、ならびに技術的、専門的、高等教育についても、全ての人に平等に機会が開かれていること。</p> <p>国際的な情報源: 世界人権宣言; 国連教育科学文化機関(UNESCO)</p>
雇用	<p>生産的な完全雇用と、公正な所得、職場の安全性、家族のための社会保障が確保された働きがいのある人間らしい仕事への就業機会があり、</p> <p>個人の発展と社会的統合の展望、人々による懸念表明、生活や平等な機会や待遇に影響を与える意思決定を組織し参加する自由を含んでいる。</p> <p>国際的な情報源: 国際労働機関</p>
エネルギー	<p>近代的エネルギーへのアクセスには次のようなものが含まれる。最低水準の電気とより安全で持続可能な調理・暖房システムにアクセスのある世帯。生産的な経済活動を可能にするエネルギーへのアクセス。保健施設、学校、街灯などの公共サービスにおける近代的エネルギーへのアクセス。</p> <p>国際的な情報源: 国際エネルギー機関(OECD), 経済協力開発機構(IEA)</p>



<b>移動手段(モビリティ)</b>	安全で、手頃で、包摂的で、効率的で、持続可能な移動手段と交通システムおよびインフラに住民がアクセスできる。  国際的な情報源: 世界銀行
<b>情報</b>	国境などにかかわらず、あらゆるメディアを通じて、人々が情報やアイデアにアクセスできること。これには、情報通信技術への普遍的かつ手頃なアクセスが含まれる。  国際的な情報源: 世界人権宣言、ユネスコ、国連総会
<b>文化・伝統</b>	芸術鑑賞や科学の進歩の恩恵を分かち合うなど文化的な生活を享受できること。これには、あらゆる形態の文化遺産の保護と促進が含まれる。有形・無形、文化的・自然的、可動的かつ不動的。  国際的な情報源: 国際総会、世界人権宣言、ユネスコ
<b>人格と人の安全保障</b>	身体的かつ精神的な苦痛、拷問や残酷、非人間的または墮落した扱いや処罰、重労働や強制労働から自由であること。これには、データセキュリティ、データ上のプライバシー保護も含んでいる。  国際的な情報源: 世界総会、世界人権宣言、国連人権委員会、国連開発グループ
<b>正義・公正</b>	公平で包括的な方法で司法にアクセスできること。  国際的な情報源: 国連総会
<b>強固な制度、平和、安定</b>	効果的で、説明責任があり、包摂的な制度を享受すること。これらは、法の支配の拡大と、全般的な政治的・経済的安定を支援するものである。あらゆる形態での腐敗および賄賂、不正な金融および武器の流出、あらゆる形態の組織犯罪および法の支配への干渉からの保護、及び盗難資産の回収と返還。  国際的な情報源: 国連総会、人権理事会、国際エネルギー機関 (OECD)
<b>質(物理的・化学的構成・性質)と…の有効利用</b>	
<b>水</b>	水質は、水の物理的、化学的、生物学的、および味に関連する特性および表層水と地下水の量として理解される。  国際的な情報源: 国連、欧州委員会、国際通貨基金、国際エネルギー機関、世界銀行
<b>大気</b>	人の健康や福祉を妨げたり、その他の有害な環境影響を引き起こす汚染物質や汚染物質が適切に分散しておらずそれらにさらされたときの周囲(屋外)の大気および家庭(屋内)の空気の品質。  国際的な情報源: 国連統計部, WHO
<b>土壌</b>	食糧生産の観点から、生物多様性プールとして、またガス、水、栄養素の制御システムとして、土壌の組成およびそれによる生態系サービスの提供機能。 こうした機能と土壌の安定性を阻害する可能性のある汚染物質や要因へのエクスポージャー。  国際的な情報源: United Nations Glossary, FAO, ヨーロッパ環境庁
<b>生物多様性と生態系サービス</b>	陸上、海洋、水生の生態系とその一部となっている生態系などを含むさまざまな生命体。種内、種と生態系の多様性が含まれる。  国際的な情報源: 国連、生物多様性条約

<b>資源効率・安全性</b>	<p>生産及び消費のために自然を利用する過程で、限られた非再生可能な天然資源(採取後は再生できない)と再生可能天然資源(成長の自然なプロセスによって以前の貯蔵レベルに戻ることができる)の効率的な利用資源の安全保障と捉えることもできる。</p> <p>国際的な情報源: United Nations Glossary, 国際資源パネル</p>
<b>気候</b>	<p>地球の大気の構成と温室効果ガス(GHG)の排出による大気へのエクスポージャーは、気候変動の直接的要因である。</p> <p>国際的な情報源: 気候変動に関する政府間パネル</p>
<b>廃棄物</b>	<p>生産・回収・運搬・処理・廃棄物処理の管理・監視・規制、工程内修正・再利用・リサイクルによる廃棄物生産防止などの廃棄物管理能力。これには廃棄物削減も含まれる。</p> <p>国際的な情報源: United Nations Glossary, 国際連合総会</p>
<b>環境の成約内で人間のニーズを満たす手段としての人と社会の経済的価値創造</b>	
<b>包摂的で健全な経済</b>	<p>社会・経済に付加価値をもたらす持続可能で多様かつ革新的な市場の開発・創出。これには、不十分な社会的集団が労働市場、財務および起業家精神に、そしてより一般的には経済的機会に完全かつ公正にアクセスできることが含まれる。</p> <p>また、個人のための安価で効果的かつ安全な金融サービスへのアクセスも含まれるが、それに限定されない。また、小規模・中規模企業だけでなく、個人のための手頃な価格で効果的かつ安全な金融サービスも含まれる。</p> <p>国際的な情報源: 欧州復興開発銀行, OECD, 国連特別融資特別擁護団体, 国連開発計画, SDGs</p>
<b>経済収束</b>	<p>一人当たり平均所得水準の不平等を軽減できるような国の能力。</p> <p>国際的な情報源: 国連経済社会局</p>

## 4. インパクトレーダーの活用

### A. 重要な考慮事項

インパクトレーダーは、持続可能な開発の3つの側面に渡る総合的なインパクト分析の第一歩として、インパクトの特定を可能にする役割を果たす。

インパクトカテゴリーをその目標通りに活用するには、2つの行動が鍵となる。

- すべてのインパクトカテゴリーに対するインパクトを考慮する。
- マイナスおよびプラス両面における影響の観点からインパクトを検討する。

これらの行動(以下B項で詳述する)は、インパクトの特定の段階で介入し、特定されたインパクトに関するさらなる分析、モニタリング、測定及び報告の基礎を提供する。このような行動が奨励されるものの、方法論は多様であり、金融機関が独自のツールをもってもよい。このことを示すのが表1である。

表1: インパクトレーダーを使用するために必要な行動と柔軟な方法論

必須	柔軟性
<ul style="list-style-type: none"><li>■ 全てのカテゴリーの検討</li><li>■ 全てのカテゴリーでポジティブなインパクトを検討</li><li>■ すべてのカテゴリーにおいてマイナスの影響を考慮</li><li>■ 金融商品やサービスの提供に先立って、設計過程における事前影響の検討</li><li>■ インパクトカテゴリーを用いて、(特定された、あるいは潜在的な)インパクトを評価し、モニタリングし、報告する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ カテゴリー別のインパクトを特定するために用いられる具体的な枠組みとプロセス</li><li>■ ポジティブ・ネガティブインパクト特定の手続き</li><li>■ カテゴリーごとのインパクト識別に続き、金融機関、商品およびサービス、業務ごとに、分析の種類や詳細度を特定する。</li><li>■ インパクト分析を実施するためのカテゴリー、サブカテゴリー、およびそれぞれの方法に付随する*指標</li></ul> <p>*業界標準に従う</p>

インパクトレーダーは、PIの枠組みで使用するツールであり、詳細なインパクト分析を提供するものである。インパクトレーダーによって特定された大きな影響の分析結果は、金融取引や、それらを支援するインフラを形成する。それは、金融商品やサービスの設計や管理のプロセス、資金提供をする上でのセーフガード、クライアントおよびより広範なステークホルダーとの金融の様々な側面に関するエンゲージメント戦略およびプロセスの参考になる。フレームワークについてのPIガイダンスは、インパクトレーダーがどのように使用されるかを示している。

### B. 実務家のためのインパクトレーダー 一問一答

インパクトレーダーの利用方法は、ツールが改善されていく過程で金融の専門家やPIステークホルダーから得られた質問に対する回答を通じてさらに明らかになっていく。

#### 1. すべてのインパクトカテゴリー考慮する必要があるか？

はい。すべてのカテゴリーにわたりインパクトを特定する作業は、金融機関にとっては比較的少額のあるいは追加的な金融投資及び非金融投資により広範なポジティブインパクトの関係性を把握または創造することにつながる可能性がある。重要なことは、意図された、あるいは想定されるポジティブインパクトが、他のカテゴリーのネガティブインパクトを犠牲にして生じる可能性があることを明らかにすることであり、これらは適切に注意を払わなければならない。

金融機関は、重要な影響を特定するために、すべての影響カテゴリーを使用し、ネガティブおよびポジティブインパクト分析の業界標準および実践に沿ったさらなるインパクト分析の優先順位付けに役立つ。インパクトレーダーは、インパクトの特定を開始する上で共通のツールとして提案されているが、インパクトの詳細な分析は、金融商品やサービスの種類(債券、ローン、中小企業、特定資産、プロジェクト...)、運用状

況(セクター、地理、会社規模)に依存し、これらのそれぞれのシナリオの特異性に  
応じて調整する必要がある。

## 2. すべてのカテゴリーについて、ネガティブインパクトを考慮しなければならないのか?

はい。PI原則は、持続可能な開発への資金提供において、持続可能な開発の3つの側面にわたるマイナスの影響が特定され、回避され、軽減され、改善されることを期待している。これは、すべてのカテゴリーでマイナスの影響を特定し、あるカテゴリーで特定されたインパクトを別のカテゴリーで特定されたポジティブなインパクトで相殺できるようなものではないことを意味する。

カテゴリーを超えたマイナス影響を特定・評価するために、金融機関は、既存の産業標準とガイドライン(例:OECD MNE多国籍企業のためのガイドライン-金融セクターの責任ある事業行動、IFCパフォーマンス基準、社内ESGリスク管理枠組み等)を使用し、必要に応じてこれらを完成し、強化することが求められる。

## 3. インパクトによって理解されることとは何か?

インパクトレーダーでは、インパクトを、資金調達活動、プロジェクト、または組織によって、人々、環境、経済に引き起こされる変化と理解する。こうした影響は、経済的に重要か重要でないか、特定の設定(経済的、社会的、文化的、政治的、法的など)において分析された場合にのみ捉えることができる。

2017年のPI金融イニシアティブに関する進捗レポートでも述べられているように、インパクトの理解は、量的・質的に処理可能で信頼できる情報へアクセスできるかどうかに関係する。実際には、金融機関は、その影響を理解し、把握する能力を完全にする一方で、代替指標、予測シナリオ、インパクト分析アプローチの組み合わせに頼る必要があるかもしれない。また、インパクトに関する同様のイニシアティブを参考にすることもできる。インパクトマネジメントプロジェクトは、インパクトの5つの側面について共通の理解を形成することを目指しており、この点に関して有益な参考になる。

## 4. なぜインパクトレーダーを使用し、直接SDGsを参照しないのか?

金融機関は、持続可能な開発に向けたコミットメントを明確にし、貢献しようとする具体的な目標を定めながら、SDGsに言及することが奨励される。

インパクトレーダーの新規性は、SDGs全体における包括的なインパクトの特定に適したツールであり、そのエッセンスを金融機関にとって関連性のある、なおかつすぐに利用できるインパクトカテゴリーに変換することができる点である。すでに1つまたは複数のSDGsへの貢献度の測定を始めている金融機関は、インパクトレーダーの適切なインパクトカテゴリーにそれぞれのインパクト分析手法を適用できる。そして、既存の業界標準や慣行に従って、プラスの影響やマイナスの影響を特定することにより、残されたインパクトカテゴリーギャップを埋めることに注力するだろう。

## 5. インパクトレーダーをインハウスの影響を受けるテーマやツールと結びつけるにはどうすればよいのか?

金融機関は、特定の投資テーマや/またはインパクトを特定するためのツールを、すでに使用している可能性がある。そうした場合は、それらを使い続け、インパクトレーダーを参考にして、商品の影響を特定する際にギャップがないことを確認し、総合的なインパクト分析に着手すればよい。

インパクトレーダーを活用することにより、金融機関は、持続可能な開発の三つの相互に関連する側面にまたがるより広範な分野の問題に対するインパクトの特定を拡大し、自らの金融製品やサービスが、それらの側面において悪影響をもたらすことなく、むしろ役に立つように設計するだろう。

また、金融機関は、特に活動領域に関連するインパクトカテゴリーのサブ・カテゴリーを開発し、インパクトレーダーを専門知識、慣行、能力に見合った高度なレベルに調整することもできる。

## 6. インパクトレーダー内のインパクトカテゴリーとインパクト指標とはどのように関連させればよいのか？

インパクトカテゴリーはグローバルにすべてのPIユーザーに適用できるだけでなく、ハイレベルなものであるべきである。金融機関は特定の投融資および業務を背景にインパクト分析を実施するために、インパクト指標が使用される。

現在、指標を開発するための方法論は非常に多岐にわたり、特定のインパクトカテゴリー、すなわち社会的な側面においては適切なインパクト指標が欠けている可能性がある。特定のインパクトカテゴリーや特定の種類の商品や資産については、指標の共通の基盤が存在し、開発の途中にある、あるいは開発が必要な場合もある。

フレームワークに関するPIのガイダンスに従い、使用される指標の選択と適用に関して、金融機関は透明性を有することが期待される。

金融機関は、特定のテーマに関する課題や特定の種類の金融機関や商品およびサービスなど、広く認められた産業界のイニシアティブやツールが提示する指標(例:非常に先進的な研究領域である、金融部門の利用のための気候や自然資本に関連した指標)を参照することが奨励される。専門家は、自社開発の指標も用いることができる。指標については、表2に示唆的かつ非包括的なリストがある。

表2: 金融業界が利用する指標の例

インパクト評価の方法論(どこで、どのように対応すべきかなどの評価指標を含む。)	テーマ別インパクト分野の指標、KPIS、測定基準(またはシナリオ):
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ <a href="#">A Practical Guide to Measuring and Managing Impact, European Venture Philanthropy Association (EVPA)</a></li> <li>▪ <a href="#">‘In Search of Impact – measuring the full value of capital’, Investment Leaders Group, University of Cambridge (2016)</a></li> <li>▪ <a href="#">The Toniic E-Guide to Impact Measurement (2012)</a></li> <li>▪ <a href="#">‘Guidebook for Impact Investors: Impact Measurement’, Purpose Capital (2012)</a></li> <li>▪ <a href="#">‘The Good Investor - a Book of Best Impact Practice’, Investing for Good (2012)</a></li> <li>▪ <a href="#">The Future-Fit Business Benchmark (2017)</a></li> <li>▪ <a href="#">The Sustainability Accounting Standards Board (SASB) sustainability framework</a></li> <li>▪ <a href="#">The Impact Management Project</a></li> <li>▪ <a href="#">WBCSD ‘Measuring socio-economic impact: A guide for business’ (2013)</a></li> <li>▪ <a href="#">RobeccoSAM ‘Measuring Intangibles: RobeccoSAM’s corporate sustainability assessment methodology’</a></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ <a href="#">Global Impact Investing Network (GIIN) IRIS metrics &amp; ‘Getting Started with IRIS guide’</a></li> <li>▪ <a href="#">Vigeo Eiris ESG performance assessment</a></li> <li>▪ <a href="#">Oekom SDG Impact Assessment for Investors</a></li> <li>▪ <a href="#">MSCI ESG Sustainable Impact Metrics &amp; Factsheet and the MSCI ESG Ratings Methodology</a></li> <li>▪ <a href="#">The B-Lab / B Impact Assessment (and GIIRS rating) case studies on impact performance</a></li> <li>▪ <a href="#">PRISM Framework, Methodology, Metrics</a></li> <li>▪ <a href="#">Solactive, SDGs methodology for the Sustainable Development Goals World Index</a></li> <li>▪ <a href="#">UN Global Compact SDG Compass &amp; SDG Industry Matrix - Financial Services</a></li> <li>▪ <a href="#">UN global indicator framework, UN Inter-Agency and Expert Group on SDG Indicators &amp; Revised list of global Sustainable Development Goal indicators</a></li> <li>▪ <a href="#">Sustainable Development Solutions Network, Indicators and a Monitoring Framework for Sustainable Development Goals: Launching a data revolution for the SDGs</a></li> <li>▪ <a href="#">Harmonized Indicators for Private Sector Operations (HIPSO) Initiative</a></li> <li>▪ <a href="#">PRI Impact Investment Market Map</a></li> <li>▪ <a href="#">World Benchmarking Alliance for Sustainability</a></li> </ul>

## 7. 特定のカテゴリが重複している、あるいは関連性が低いと思われるときにどのような利用が可能か？

持続可能性の問題が相互に関連していることを考えると、インパクトカテゴリー間の内容の重複を完全に避けることはほぼ不可能である。しかし、インパクト分析のための明確な指標が確立されることは重要である。これらの指標を確立し、使用し、透明化することは、金融機関がインパクトの二重計算を回避することにも役立つ。実践することで、インパクトカテゴリーのさらなる改善につながる。

特定のインパクトカテゴリーは、民間セクターが貢献することが求められているSDGs アジェンダに明示されたニーズを反映している。企業においては、これらのカテゴリーにどのような影響を及ぼすかについての検討が始まったばかりである。インパクトリーダーには、このようなカテゴリーが、専門家の要望の中に含まれており、業界が自分たちに、ポジティブに、あるいはネガティブに、どのように影響を及ぼすかを検討するための扉を開くことが求められている。

### 重複

水:インパクトリーダーの2つのカテゴリーに関係する。分析の視点は、社会的な観点と環境的な観点から微妙に異なる。この分析は、社会的な観点からは、人々のニーズを満たすための水の利用可能性、アクセス可能性、及び手ごろな価格に焦点が当てられ、環境的な観点からは、水の物理的性質(住民の水へのアクセスに影響を及ぼす可能性があるか否か)の変化に焦点が当てられている。

空気、水、土、生物多様性及び生態系:これらのカテゴリーは、これらの再生可能な天然資源の責任ある管理(それらの質と量のフットプリントを管理すること)の必要性に関連している。

資源効率/安全性:このカテゴリーは、再生可能天然資源と非再生可能天然資源の両方を枯渇から回避することに関連しており、天然資源の効率的かつ循環的な利用を指す。

廃棄物:廃棄物は自然環境の一部ではなく、廃棄物管理や削減によって環境が保全・回復される。持続可能な開発アジェンダにおける重要性和、金融機関の実践における拠り所としてインパクトリーダーにこのカテゴリーが含まれている。

### 新しいテーマ

公正:この問題は、世界的には公的機関の効率性に関連しているが、金融機関も、公正に対するインパクトを理解するための努力を展開している。これは、企業の人権尊重に対する責任(インパクトの是正と強く関連するデュー・デリジェンス)の文脈において、悪影響の是正を可能にすること、またはより一般的にはイニシアティブ(例えば、民間のパートナーシップ)を通じて、公正へのさらなる大きなアクセスへの実施を可能にすることに関係する。

人格と人の安全保障:このカテゴリーは、いかなる種類の身体的・精神的損害に対しても、人々を保護することに関連している。それは、拷問、重労働や強制労働からの自由、人身売買、ジェンダー暴力、子どもに対する暴力等に関連する。それは、ある国の政治的安定に対する企業の影響とは対照的に、個人に焦点を当てている。

強力な制度、平和と安定:このカテゴリーは、平和、政治的安定、そして一般的に法の支配を損なう可能性のある企業の行動から、国家機関とガバナンスシステムを保護することに関連している。それは、政治的意思決定、汚職と贈賄、武器の不正取引、紛争の拡散などに関連する慣行に影響を及ぼす過度の経済的圧力と関連する可能性がある慣行に関連している。それは個人ではなくシステムへの影響に焦点を合わせる。

## 8. インパクトレーダーでは人権をどのように把握しているか？

持続可能な開発目標は、「すべての人々の人権の実現を目指す」ものである。「人権」は全てのSDGsに影響を与え、全般的な実施に役立つ。したがって、独立したインパクトカテゴリーではない。

多くのインパクトカテゴリーが国際的な人権基準に共鳴し、それらの活用は、人権の享受を促進する金融機関の能力を向上させるとともに、人権尊重に対する金融機関の責任を満たすことにも役立つ。インパクトレーダーの使用は代替されず、それどころか国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に明記されているように人権のデューデリジェンスを実行することが求められている。

専門家は、人権に関する産業界のデュー・デリジェンスに関する有用なガイダンスを参考にすることが奨励されている。例えば、OECD金融セクターに対する責任ある企業行動指針<sup>1</sup>や、国連人権高等弁務官事務所(国連人権高等弁務官事務所)による国連のビジネスと人権に関する指導原則の履行に関する解釈的ガイダンス<sup>2</sup>、ビジネスと人権の国連作業部会<sup>3</sup>などである。

ビジネス慣行においては2つのインパクト領域が目立つ。人権は不可分であり、相互依存関係にあることを念頭に置きつつ、金融機関は以下の点に一層の注意を払う必要がある。

- 子ども、先住民、移民労働者、障害者、女性の権利の尊重と保護
- 平等と非差別の原則の適用。

別注では、SDGsの資金調達に対する人権アプローチが明らかにされている。これには、国連の指導原則がPI原則とどのように関連しているか、また、この関係が実際にどのような意味合いを持っているかが含まれる。

## 9. PIではインパクトレーダーを使用しなければならないのか？

金融機関は、インパクトレーダーを直接採用するか、インパクトレーダーを参考に社内で利用しているツールのギャップを埋めるために利用することで、使用要件にもとづき、包括的なインパクト分析の透明性を高めるためことができる。

インパクトレーダーの使用は、PI原則を適用し実践する上でそれらを調和させ、PI商品及びサービスの評価の一貫性に貢献する。インパクトレーダーは、その種類、規模、重点を置くセクター、地理的状況に関係なく、金融機関に適切なものとなるよう開発された(方法論の第2章を参照)。PI商品サービスに対する包括的なインパクト管理のための共通言語としてインパクトカテゴリーが提案されている。インパクトカテゴリーの適用は、業界におけるインパクト分析の強固さを高めることにつながり、インパクトの透明性の観点からも、インパクトデータの収集を促進するべきである。

## 10. インパクトレーダーはライブツールとして提案されているが、その目的とは？

インパクトのカテゴリーや定義は、専門家やステークホルダーと議論し、その使用について外部からのフィードバックを受けて修正することができる。社会のニーズや期待、政策や規制や規範、そして業界の慣行が進化するにつれて、これらを調整する必要があるからである。

金融機関は、PIの旅に先駆けて、フレームワーク、プロセス、方法論、指標を統合することで、インパクトレーダーがライブツールとなる包括的なインパクト分析が可能となるようにするよう努めるべきである。金融機関は、各インパクトカテゴリーに特有のものとして、業界に対する進化しつつある知識と世界的な期待に遅れないようにすることを奨励されている。これは、健全で信頼できるPI金融商品やサービス、健全なビジネスモデル及び制度的アプローチ、同業他社やステークホルダーに対する強力なポジショニング、そして全体として、業界トップに向けた収斂に寄与する。

## 11. インパクトレーダーを一言で表すとすると？

インパクトレーダーの主要な特徴を表3に示す。

表3: インパクトレーダーの要諦

インパクトレーダーの提案:	インパクトレーダーの誤った理解:
<ul style="list-style-type: none"><li>■ SDGsをまたがる全体的なインパクト分析を可能にするインパクト特定ツール</li><li>■ 世界標準(それは、地域を超えた基本的な開発(経済発展)のニーズを捉えている)</li><li>■ 目的:インパクトを与えることに向けられる行動とは対照的に、インパクトを定義するもの</li><li>■ 金融手段とそれを支える事業活動のすべての分野に関連</li><li>■ ネガティブ・ポジティブ・インパクト分析を始めるにあたり、あらゆるセクターに関連</li><li>■ 事前にインパクトを特定(予測モデル、デューデリジェンスなど)、及び関連する事後分析(特定されたインパクトに関するモニタリング、測定、報告; インパクトの特定を継続的なプロセスとして追求)に適用できる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ メニューから選択可能:全てのカテゴリーが考慮される*</li><li>■ 実態経済に直接基づいたインパクトカテゴリーの一覧**</li><li>■ 異なるカテゴリー間、または同じカテゴリー内におけるインパクトのトレードオフを試算する手段。</li></ul> <p>*カテゴリーごとのインパクト分析の種類と詳細さは、状況や既存の業界標準に従って、大きなインパクトとして特定された場合によって異なる。</p> <p>**特定のセクターは、特定の種類のインパクトと関連している可能性がある。</p>



## 5. 謝辞

インパクトリーダーは、ポジティブインパクトチームとポジティブインパクトイニシアティブの運営グループの支援を受けて、Sabina Timco, Programme Lead, Social Issue and Human Rights Issue, UNEP FIによって作成されました。

「インパクトリーダー」の開発には、ポジティブインパクトファイナンスイニシアティブのメンバーとステークホルダーからの広範なインプットが含まれております。皆様の貴重なお時間、ご助言、ご貢献に感謝申し上げます。

### UNEP FI ポジティブ・インパクト・イニシアチブ運営グループ

#### **DENIS CHILDS**

Head of Environmental and Social Advisory and Positive Impact Finance  
Société Générale

#### **ANDREW PARRY**

Head of Sustainable Investing  
Hermes Investment Management

#### **HERVÉ GUEZ**

Head of Equities and Fixed Income and Head of SRI Research  
Mirova

#### **LEONIE SCHREVE**

Global Head of Sustainable Finance  
ING

#### **NAMITA VIKAS**

Group President & Global Head, Climate Strategy & Responsible Banking  
YES Bank

### UNEP FI POSITIVE IMPACT INITIATIVE 担当チーム

#### **CAREEN ABB**

ポジティブインパクト・プログラム責任者

#### **JÉRÔME TAGGER**

コミュニケーションとアウトリーチ

#### **NINA RAPOLD**

インターン

UNEP FI日本事務局 和訳

UNボランティア 近藤彩子 編集

この報告書は、欧州委員会の寛大な支援により完成致しました。



国連環境-金融イニシアティブは、持続可能な金融を促進するためのミッションを持って、1992の地球サミットを契機に設立された国連環境計画と世界各国の金融セクターのパートナーシップである。銀行、保険会社、投資家など、200を超える金融機関が、今日の環境、社会、ガバナンスの課題、資金調達がなぜ重要なのか、そしてそれらの課題に積極的に取り組む方法についての理解を深めることを目的として、国連環境計画と協力している。

[www.unepfi.org](http://www.unepfi.org)



UNEP FIの「ポジティブ・インパクト・イニシアティブ」では、持続可能な開発のための資金ギャップと持続可能な開発目標(SDGs)の解決策を模索している。このイニシアティブは、その意思決定においてインパクト分析が徹底的に深化するよう金融業界を動かすことを支援するのに役立つ。インパクトについての理解の向上は、結果的に、よりインパクトのあるビジネスモデルや投資を促進することになる。ポジティブ・インパクトファイナンス原則に基づいて、銀行・投資家および様々なステークホルダーは、幅広い金融商品にわたる全体的影響分析の指針およびツールを開発するために、既存のインパクト・フレームワークを構築している。このイニシアティブはまた、インパクトに基づくビジネスモデルを開発するため、民間セクターの取り組みを促すことにつながるインパクトベースの要求を探求するために、公共セクターとも協働している。このイニシアティブは、UNEP FIメンバーの中核グループと、民間の広範なステークホルダーにより構成されている。

我々は、すべてのステークホルダーに対し、UNEP FIのポジティブ・インパクト・イニシアティブに参加し、ベスト・プラクティスと協働し、有意なインパクトを生むエコシステムの構築を支援することを求める。詳細については：

[www.unepfi.org/positive-impact/positive-impact/](http://www.unepfi.org/positive-impact/positive-impact/)

Follow #positiveimpactnews

[positiveimpact@unepfi.org](mailto:positiveimpact@unepfi.org)